

ケアデータコネクト

メーカー別ペアリング設定資料

A&Dの計測機器をご利用のお客様

初期設定

通信機能付き計測機器の設定

[体温計] UT-201BLE のペアリング設定方法

※ 計測機器の取扱説明書も必ずご確認ください

1. デバイス管理から新規デバイス追加ボタンを押し、メーカー選択画面で「A&D」をタップし、デバイス検索モードにする



2. 下記手順で体温計を操作し、体温計を「ペアリングモード」にする

体温計の電源を入れ、体温計の画面に「L」が表示された後に、
再度「電源ボタン」を1回押し、画面に「Pr」と表示されればペアリングモードとなります。



電源OFF



電源ON



計測モード



ペアリングモード

3. Bluetoothペアリング要求モーダルが表示されると「ペアリング」をタップし、ペアリング要求を受け入れる



BRIGHT VIE

[血圧計] UA-651BLE のペアリング設定方法

※ 計測機器の取扱説明書も必ずご確認ください

- デバイス管理から新規デバイス追加ボタンを押し、メーカー選択画面で「A&D」をタップし、デバイス検索モードにする



- 下記手順で血圧計を操作し、血圧計を「ペアリングモード」にする

**血圧計の電源ボタンを長押しで起動し、
画面に「Pr」と表示されれば準備OKです。**



- Bluetoothペアリング要求モーダルが表示されると「ペアリング」をタップし、ペアリング要求を受け入れる



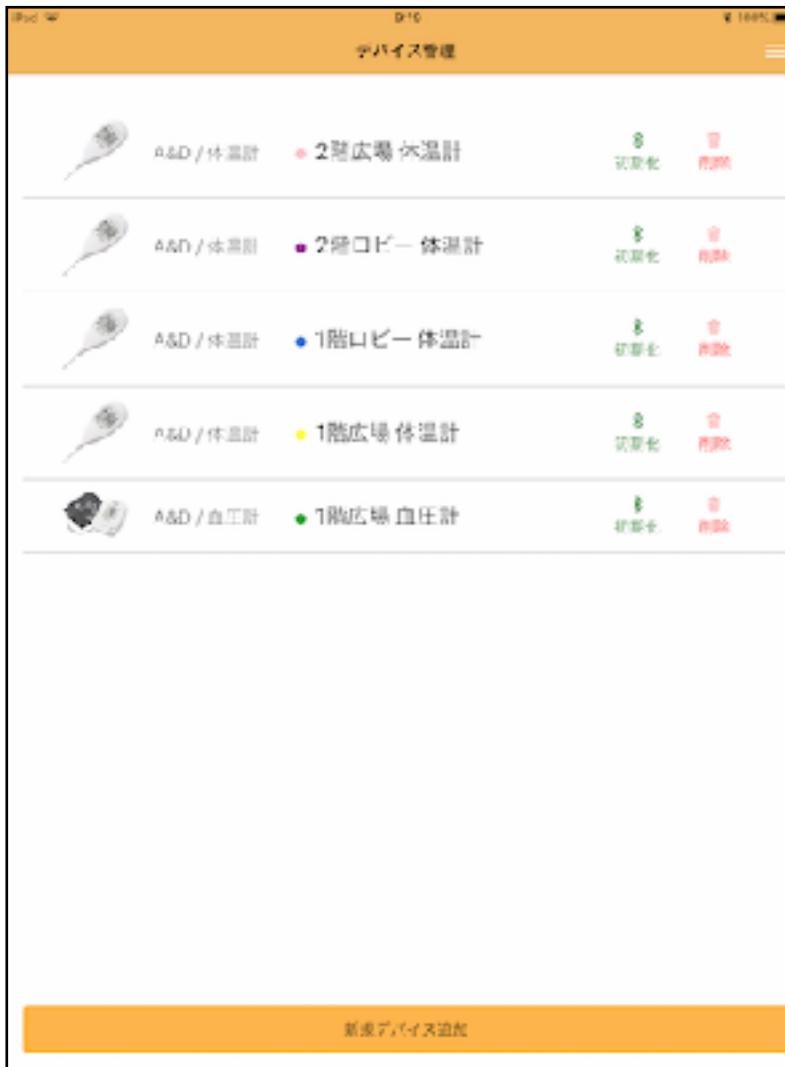
通信機能付き計測機器の設定の初期化について

通信機能付き計測機器の**電池を交換した場合**やしばらくの間iPadとのデータ連携を行わず**「通信しない体温計」**などとして使い続けていた場合、計測機器内部の**時間の再設定**など設定の初期化を行う必要があります。

※ 実施しない場合計測時間が正しく反映されない場合がございます。

《設定方法》

1. 「デバイス管理」ページのデバイス一覧から「初期化」をタップします



2. デバイスの検索モード遷移後、計測機器側で「ペアリングモード」にしてください



3. 正常にペアリングが行われると、設定が行われ、完了の画面が出ると初期化が終了します。



※ 計測機器別の「ペアリングモード」への方法はP.12を参照

バイタル計測機能 自動連携機能を使って記録する場合

通常バイタル計測機能

※ 端末のBluetooth設定をONにして下さい

《A&Dの計測機器の利用方法》

- 右上サイドメニューを開き、「通常計測」をタップします。



- 画面が表示されたら、自動連携機能が有効になっているかを確認します。



※「通常バイタル計測」下部に
「Bluetooth検索中…」という文言が表示されていると
Bluetoothによるデータ受信が可能な状態です。

※ A&Dの計測機器のペアリング設定を1台以上実施していないと表示されません。

通常バイタル計測機能

3. 体温計や血圧計でバイタルを計測し、自動連携されるのを待ちます。



バイタルを測定すると
「ピー」という音とともに Wi-Fiマークが出現
データを端末へ自動送信します

4. 自動連携されると記録を保存して完了です。



【注意事項】

- ・自動連携される計測データは上書き方式で記録されます。
- ・そのため、既に入力済みのバイタルデータは早めに保存処理を行って下さい。

複数人バイタル計測、連続バイタル計測

※ 端末のBluetooth設定をONにして下さい

《A&Dの計測機器の利用方法》

A&Dの計測機器は、計測が完了すると自動でバイタルデータが連携されます

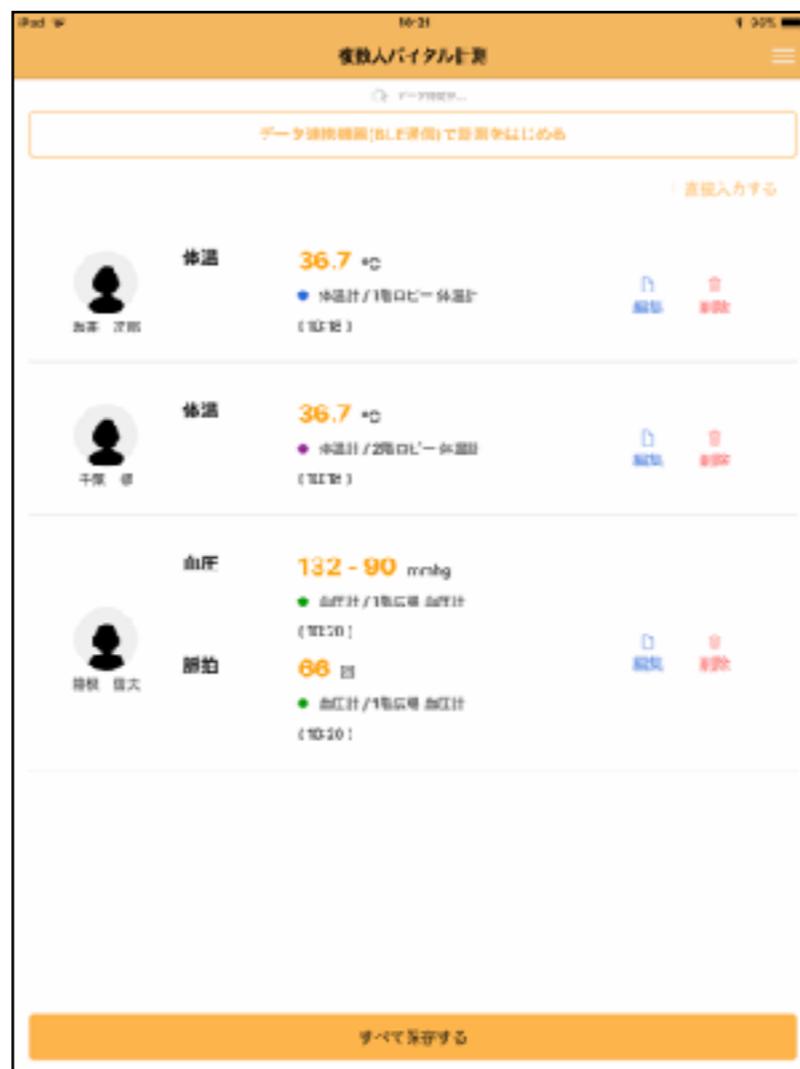
バイタル（例：体温）を測定すると、「ピー」という音とともにWi-Fiマークが出現。データを自動送信し、タブレットの画面に計測値が表示されます。



A&D体温計の計測後の画面



A&D血圧計の計測後の画面



[計測されたバイタルが自動連携されて表示]
計測されたデータを「編集」することで
バイタル値の追加やコメントを入力することが可能



バイタルデータの送信が完了

NISSEIの計測機器をご利用のお客様

初期設定

通信機能付き計測機器の設定

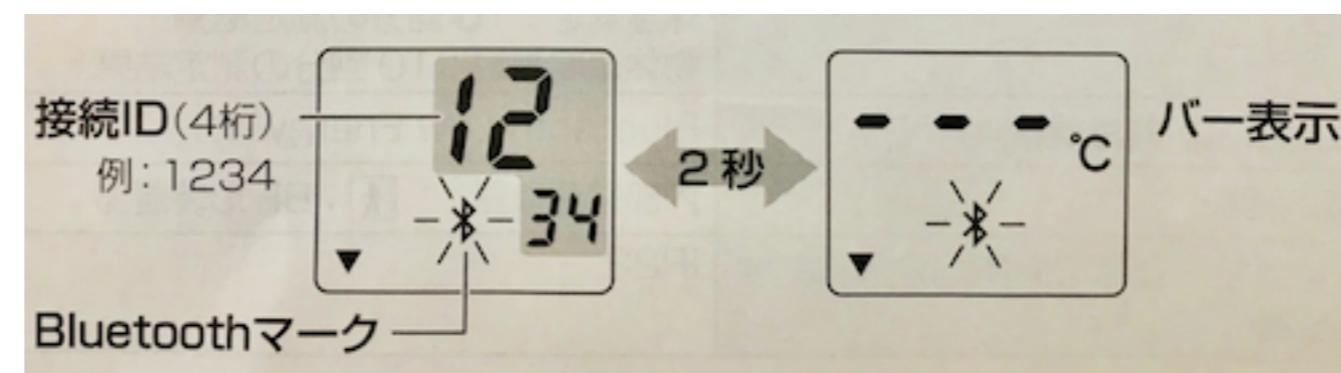
[非接触体温計] MT-500BT の設定方法

※ 計測機器の取扱説明書も必ずご確認ください

1. デバイス管理から新規デバイス追加ボタンを押し、メーカー選択画面で「NISSEI」をタップする
2. 「体温計」を選択する
3. 体温計を操作して接続IDを確認する

体温計本体のモード・メモリボタンを4秒以上長押ししてください。

Bluetoothマークが点滅して通信モードに切り替わり、表示部には4桁の接続IDとバー表示が交互に表示されます。



4. 接続IDを入力し、接続成功の表示がされると設定完了です

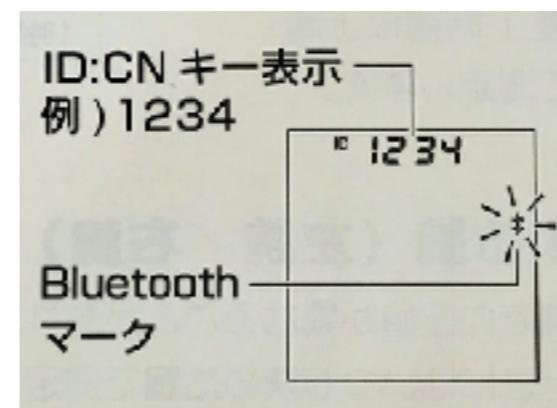


[上腕式血圧計] DS-S10M の設定方法

※ 計測機器の取扱説明書も必ずご確認ください

1. デバイス管理から新規デバイス追加ボタンを押し、メーカー選択画面で「NISSEI」をタップする
2. 「血圧計」を選択する
3. 血圧計を操作して接続IDを確認する

血圧計本体のBluetooth接続ボタンを3秒以上長押ししてください。
Bluetoothマークが点滅し、通信モードに切り替わると、画面上部に接続ID（CNキー）が表示されます。



4. 接続IDを入力し、接続成功の表示がされると設定完了です。



[パルスオキシメータ] BO-750BT の設定方法

※ 計測機器の取扱説明書も必ずご確認ください

1. デバイス管理から新規デバイス追加ボタンを押し、メーカー選択画面で「NISSEI」をタップする
2. 「パルスオキシメーター」を選択する
3. パルスオキシメーターを操作して接続IDを確認する

測定結果表示中に表示切替ボタンを3秒以上長押しすると接続IDを表示します。

データ通信がおこなわれなかった場合は、約60秒後に自動的に測定結果表示に戻ります。



「測定結果表示中」とは、
指を装着した状態で脈拍とSpO2が
画面に表示されている状態となります。



接続ID(例:0123)

4. 接続IDを入力し、接続成功の表示がされると設定完了です



[手首式血圧計] WS-M50BT の設定方法

※ 計測機器の取扱説明書も必ずご確認ください

1. デバイス管理から新規デバイス追加ボタンを押し、メーカー選択画面で「NISSEI」をタップする
2. 「血圧計」を選択する
3. 血圧計を操作して接続IDを確認する

血圧計の電源が切れた状態で「▲」ボタンを長押ししてください。

4桁の接続IDが表示され通信モードになります。



左から2番目のボタンに
「▲」と表示されています。



4. 接続IDを入力し、接続成功の表示がされると設定完了です ※ 表示される血圧計の画像は、実際に登録した機器の画像とは異なります



バイタル計測機能 自動連携機能を使って記録する場合

※ 端末のBluetooth設定をONにして下さい

《NISSEIの計測機器の利用方法》

- 右上サイドメニューを開き、「通常計測」をタップします。



- 画面が表示されたら、自動連携機能が有効になっているかを確認します。



※「通常バイタル計測」下部に
「Bluetooth検索中…」という文言が表示されていると
Bluetoothによるデータ受信が可能な状態です。

※ NISSEIの計測機器のペアリング設定を1台以上実施していないと表示されません。

2. 計測が完了した、体温計、血圧計、パルスオキシメーターから、バイタルデータが自動連携されるのを待ちます。



バイタルを測定すると
「ピー」という音とともに Wi-Fiマークが出現
データを端末へ自動送信します

4. 自動連携されると記録を保存して完了です。



[注意事項]

- ・自動連携される計測データは上書き方式で記録されます。
- ・そのため、既に入力済みのバイタルデータは早めに保存処理を行って下さい。

複数人バイタル計測、連続バイタル計測

2021年11月01日 (ver1.0.17) 以降、NISSEIの計測機器でも、「複数人バイタル計測」および「連続バイタル計測」が利用可能になりました

《NISSEIの計測機器の利用方法》

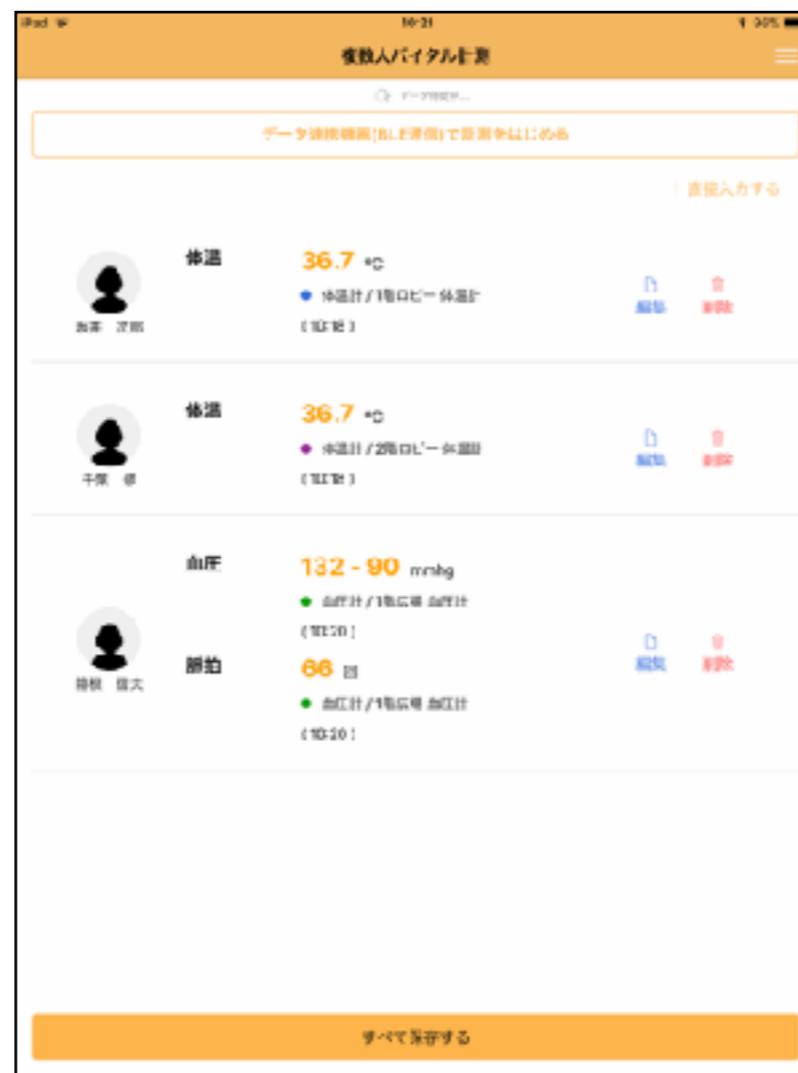
※ 計測が完了すると自動でバイタルデータが連携されます
バイタルの測定が完了すると画面にBluetoothのマークが出現。
データを自動送信し、タブレットの画面に計測値が表示されます。

※ 端末のBluetooth設定をONにして下さい

「すべて保存する」ボタンをタップすると、
記録が保存され、データが連携されます。



バイタルを測定すると
「ピー」という音とともに Bluetoothマークが出現
データを端末へ自動送信します



[計測されたバイタルが自動連携されて表示]
計測されたデータを「編集」することで
バイタル値の追加やコメントを入力することが可能



バイタルデータの送信が完了

アークレイの計測機器をご利用のお客様

初期設定

通信機能付き計測機器の設定

[血糖値計] GT-1830 グルコカード Gブラックの設定方法

※ 計測機器の取扱説明書も必ずご確認ください

《計測機器の設定》

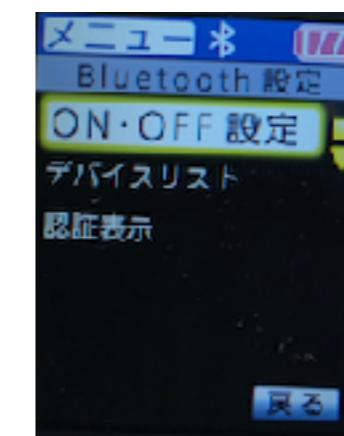
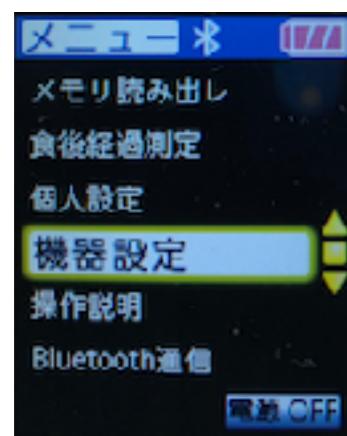
1. 計測機器を「FULLモード設定」に変更します

GT-1830の右側のディップスイッチを一番下に移動させます。GT-1830を起動し、起動直後に表示される画面のモード表示がFULLとなっていることを確認します。



2. Bluetooth通信を有効化します

「機器設定」>「Bluetooth設定」>「ON・OFF設定」を選択後
通信を「自動」、送信後自動送信を「ON」に設定し「登録」を選択します。

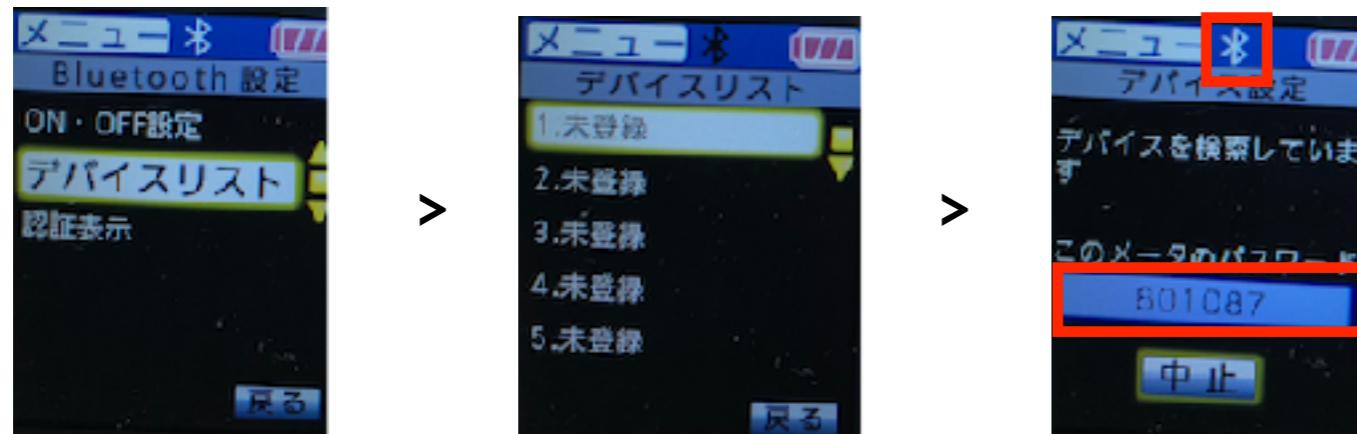


[血糖値計] GT-1830 グルコカード Gブラックの設定方法

※ 計測機器の取扱説明書も必ずご確認ください

3. デバイス登録画面を表示します

「デバイスリスト」 > 「1. 未登録」を選択後、
Bluetoothマークが白抜きになっている事、パスワードが表示されている事を確認し、この画面を表示し続けます。



Bluetoothマークが白抜きの時は通信モード中です。

接続に必要なパスワードが表示

《iOS端末の設定》

4. iOS端末の設定で「GT-1830」が存在している場合は、事前に解除して下さい

※ はじめて設定される場合は、この手順をスキップしてください。



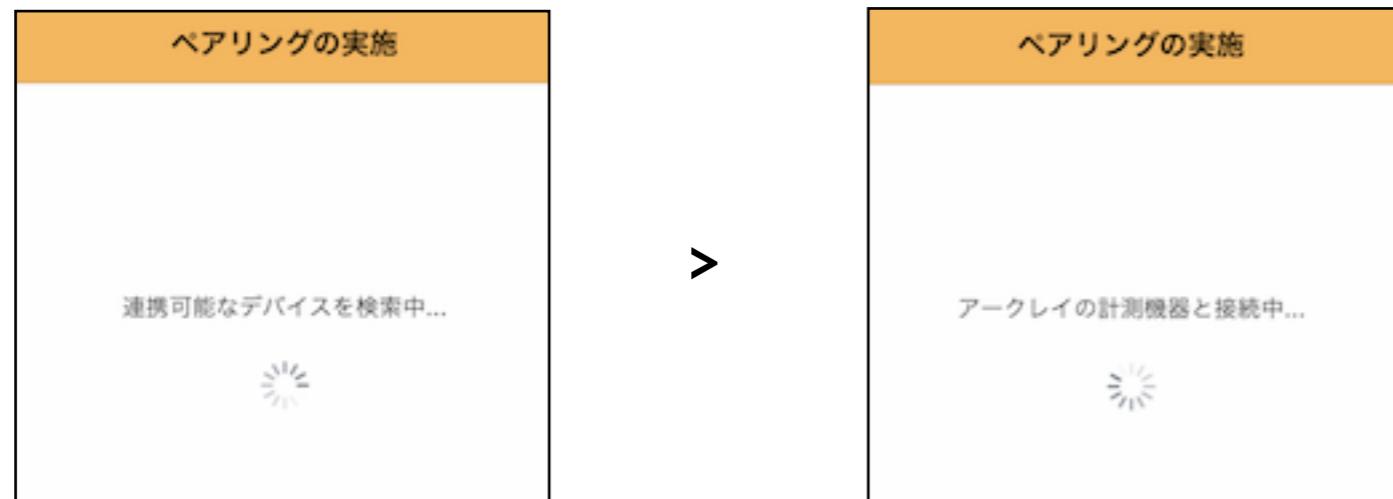
iOSの「設定アプリ」を開き「Bluetooth」の
「自分のデバイス」欄に「GT-1830」がある場合、
「i」をタップして「このデバイスの登録を解除」して下さい。



[血糖値計] GT-1830 グルコカード Gブラックの設定方法

※ 計測機器の取扱説明書も必ずご確認ください

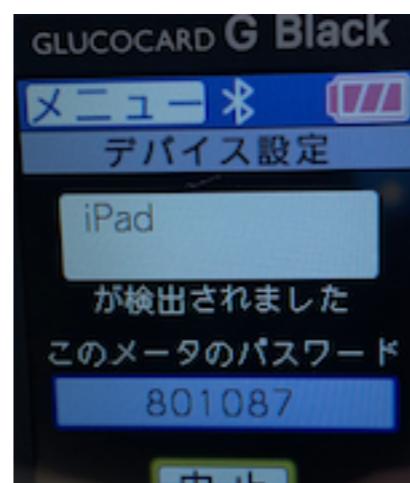
- 「ケアデータコネクト」アプリのデバイス管理から「新規デバイス追加」ボタンを押し、メーカー選択画面で「アークレイ」をタップして、デバイス検索モードにします



※手順3の「デバイス登録画面の表示」を
必ず事前に表示させておいて下さい

アークレイの接続機器が発見されると、「接続中」の表示に変わります

- Bluetoothペアリング要求モーダルが表示されると「ペアリング」をタップし、ペアリング要求を受け入れます
ペアリングに成功すると、計測機器の画面に接続するiOSデバイスの名称が表示されます



[血糖値計] GT-1830 グルコカード Gブラックの設定方法

※ 計測機器の取扱説明書も必ずご確認ください

7. 次に計測機器に表示されているパスワードを入力し、「接続成功」の表示がされると接続機器との設定は完了です



※ 計測機器に表示されている
6桁のパスワードを入力して下さい



8. 最後にデバイスの設定に必要な情報を登録して全ての設定が完了です。



※ 「登録」ボタンを押さないと、
最初から全ての手順がやり直しとなります



[血糖値計] GT-1830 グルコカード Gブラック 接続エラーについて

ペアリングの途中でパスワードを間違えたり、接続がうまくいかなった場合には、

下記手順にてiOS端末および血糖値計測機器を初期状態に戻してから、再度手順1から血糖値計測機器の設定を行って下さい

※ 計測機器の取扱説明書も必ずご確認ください



デバイス検索モードで
「アークレイの計測機器と接続中」の画面が
表示され続けている



パスワードの入力を間違え
登録が失敗した場合の表示

《初期状態に戻す手順》

【iOS端末】

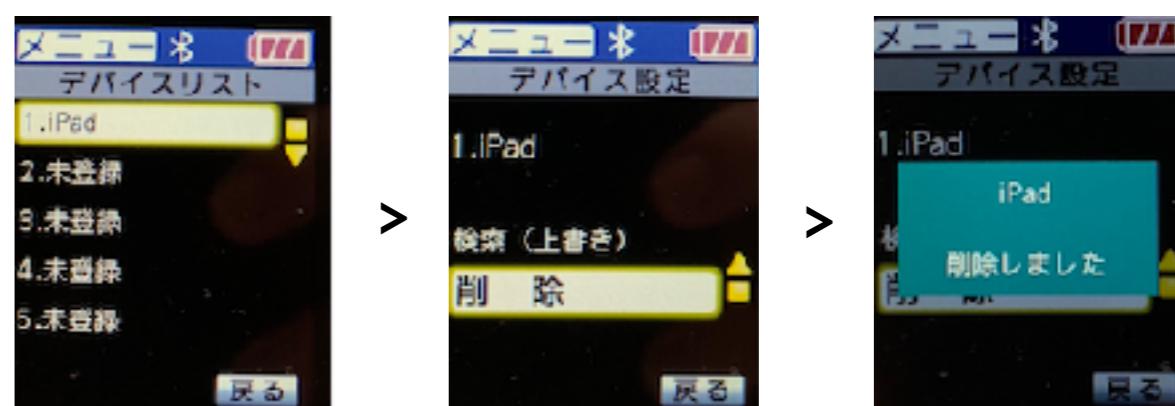
iOSの「設定」の「Bluetooth」から「GT-1830」のデバイス登録を解除する



P.22 手順4の操作を参考にし、
「GT-1830」のデバイス登録を解除して下さい。

【血糖値計測機器】

デバイスリストから対象の機器を削除する



バイタル計測機能 自動連携機能を使って記録する場合

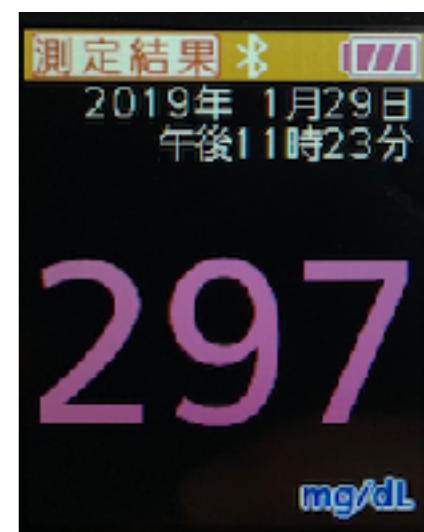
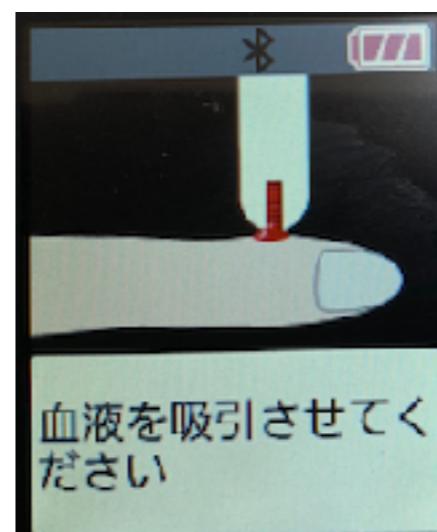
※ 端末のBluetooth設定をONにして下さい

《ARKRAYの計測機器の利用方法》

- 通常計測画面を開き利用者を選択後、ARKRAYの計測機器でバイタルを計測します。
計測後 「Gセンサー」を抜くとバイタルデータの自動連携が開始されます。



※ 自己検査用GT-1830 取扱説明書より抜粋



※ ARKRAYの計測機器を1台以上登録していないと表示されません

血糖値計測機器に「Gセンサー」を挿入後の画面

血液を吸引し、計測後の画面

2. 計測完了後、機器データを取り込むの「アークレイ」をタップし、データを取得する計測機器を選択してバイタルデータが自動連携されるのを待ちます。



※ ARKRAYの計測機器を1台以上登録していないと表示されません

※ 登録機器が1台の場合は、この画面はスキップされます

3. バイタルデータが自動連携されると記録を保存して完了です。



バイタルデータを自動連携する際の
計測機器の画面の変化



[注意事項]

- ・自動連携される計測データは上書き方式で記録されます。
- ・そのため、既に入力済みのバイタルデータは早めに保存処理を行って下さい。

複数人バイタル計測、連続バイタル計測

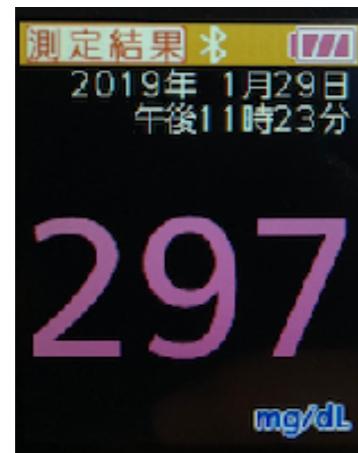
※ 端末のBluetooth設定をONにして下さい

《アークレイの計測機器の利用方法》

アークレイの計測機器は、計測完了後、「取得」ボタンを押してバイタルデータを連携させる必要があります

血糖値を測定し「Gセンサー」を抜くと、Bluetoothマークが白抜きになっているのを確認。

アプリで「取得」ボタンを押すと、バイタルデータが連携され、画面に計測値が表示されます。



アークレイ 計測後の画面



アークレイ 通信中の画面



「取得」ボタンを押すことで、
計測が完了した機器からのデータが連携される



データ連携された画面

OMRONの計測機器をご利用のお客様

初期設定

通信機能付き計測機器の設定

[体温計] 非接触体温計 TM-101B のペアリング設定方法

- デバイス管理から新規デバイス追加ボタンを押し、メーカー選択画面で「OMRON」をタップし、デバイス検索モードにする



- 下記手順で体温計を操作し、体温計との接続設定を行います。

体温計本体の「測定」ボタンを押し電源を入れます。

すべてのマークが表示され「ピッピッ」と電子音が鳴り、待機状態となれば準備完了です。



電源OFFの状態から
測定ボタンを押す



電源ON後、
すべてのマークが表示



待機状態の画面
通信可能な状態となる

- 上記手順を実施すると自動で通信接続の設定が行われます。ペアリング設定画面が表示されれば接続設定は完了です。





【注意点】

OMRON社の体温計は、**電源が入った瞬間にBluetooth通信が開始**されるため、
ペアリング時に複数の体温計の電源が入っていると
意図しない体温計とペアリングが行われる可能性があります。

**他の体温計の電源が
OFFになっていることを確認してから**
ペアリングを開始して下さい。

[血圧計] 手首式血圧計 HEM-6233T のペアリング設定方法

1. デバイス管理から新規デバイス追加ボタンを押し、メーカー選択画面で「OMRON」をタップし、デバイス検索モードにする



2. 下記手順で血圧計を操作し、血圧計を「ペアリングモード」にする

血圧計の本体の電源が切れた状態で、本体裏にあるBluetoothのボタンを2~3秒長押しで起動し、画面に「P」の表示が点滅表示されれば準備OKです。



電源OFF

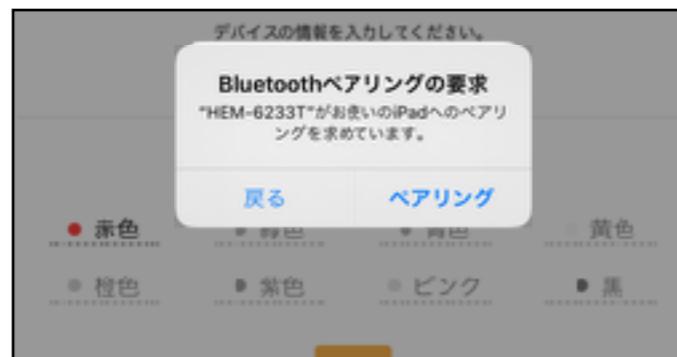


本体裏のBluetoothボタン



ペアリングモード

3. Bluetoothペアリング要求モーダルが表示されると「ペアリング」をタップし、ペアリング要求を受け入れる



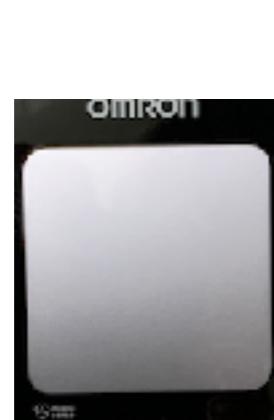
[血圧計] 上腕式血圧計 HCR-7501T のペアリング設定方法

1. デバイス管理から新規デバイス追加ボタンを押し、メーカー選択画面で「OMRON」をタップし、デバイス検索モードにする



2. 下記手順で血圧計を操作し、血圧計を「ペアリングモード」にする

血圧計の本体の電源が切れた状態で、本体にあるBluetoothのボタンを2~3秒長押しで起動し、画面に「P」の表示が点滅表示されれば準備OKです。



電源OFF



本体のBluetoothボタン



ペアリングモード

3. Bluetoothペアリング要求モーダルが表示されると「ペアリング」をタップし、ペアリング要求を受け入れる



[パルスオキシメータ] HPO-300Tのペアリング設定方法

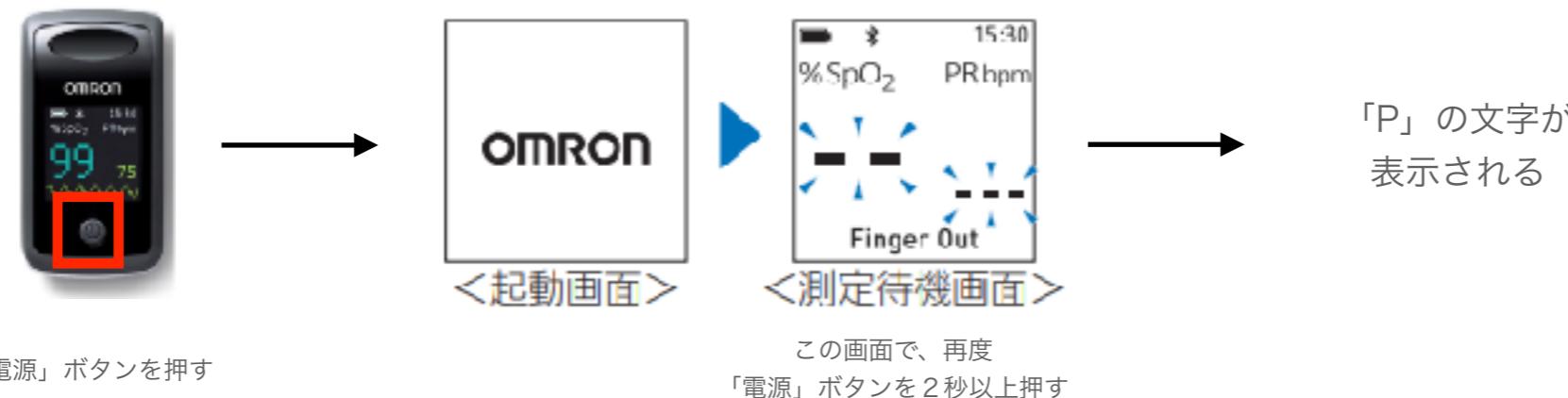
1. デバイス管理から新規デバイス追加ボタンを押し、メーカー選択画面で「OMRON」をタップする

2. 「パルスオキシメーター」を選択する

3. パルスオキシメーターを操作してペアリングモードにする

「電源」ボタンを1回押して電源を入れます。

<測定待機画面>が表示された後、「電源」ボタンを2秒以上押して、「P」の文字が表示されればペアリングモードです。



4. パルスオキシメーターに「P」の文字が表示されていることを確認後、「ペアリングを開始」ボタンを押す
Bluetoothペアリング要求モーダルが表示されると「ペアリング」をタップし、ペアリング要求を受け入れてる



バイタル計測機能 自動連携機能を使って記録する場合

※ 端末のBluetooth設定をONにして下さい

《OMRONの計測機器の利用方法》

- 右上サイドメニューを開き、「通常計測」をタップします。



- 画面が表示されたら、自動連携機能が有効になっているかを確認します。



※「通常バイタル計測」下部に
「Bluetooth検索中…」という文言が表示されていると
Bluetoothによるデータ受信が可能な状態です。

※ OMRONの計測機器のペアリング設定を1台以上実施していないと表示されません。

OMRONの計測機器は、計測が完了すると自動でバイタルデータが連携されます

3. 体温計や血圧計でバイタルを計測し、自動連携されるのを待ちます。



4. 自動連携されると記録を保存して完了です。

**[注意事項]**

- ・自動連携される計測データは上書き方式で記録されます。
- ・そのため、既に入力済みのバイタルデータは早めに保存処理を行って下さい。

複数人バイタル計測、連続バイタル計測

※ 端末のBluetooth設定をONにして下さい

《OMRONの計測機器の利用方法》

OMRONの計測機器は、計測が完了すると自動でバイタルデータが連携されます

バイタルの測定が完了すると画面にBluetoothのマークが出現。
データを自動送信し、タブレットの画面に計測値が表示されます。



OMRON体温計の計測後の画面



OMRON血圧計の計測後の画面



[計測されたバイタルが自動連携されて表示]
計測されたデータを「編集」することで
バイタル値の追加やコメントを入力することが可能



バイタルデータの送信が完了



**iPhone版(OMRON connect専用)
OMRONの計測機器をご利用のお客様**



初期設定 通信機能付き計測機器の設定



connect
omron OMRON connect専用の計測機器をご利用のお客様

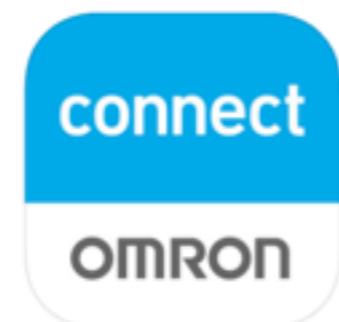
[血圧計] OMRON計測機器の設定方法

iPhoneのみ対応

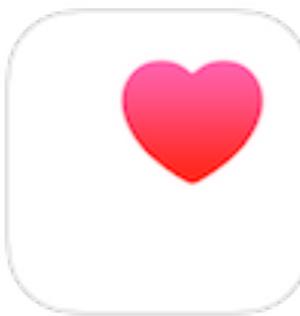
※ 計測機器の取扱説明書も必ずご確認ください

1. 事前準備

OMRONの計測機器を利用する場合には、「OMRON connect」と「Apple ヘルスケア」を利用して計測機器の登録や計測データを取得を行います。



omron connect



ヘルスケア

※ 「Apple ヘルスケア」は、初期状態でインストールされているアプリです

まず最初に「App Store」から「OMRON connect」アプリをインストールします。



App Store



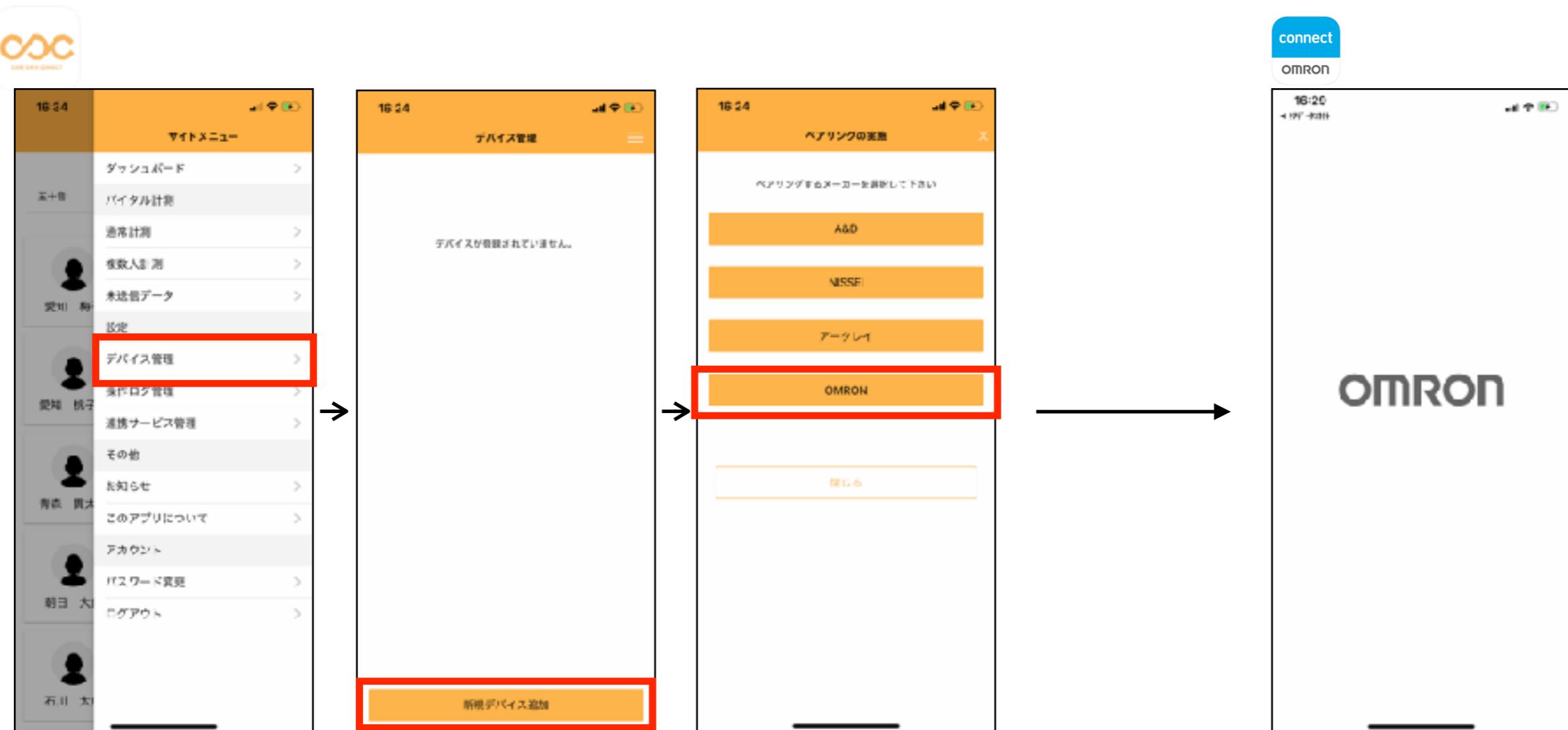
[血圧計] OMRON計測機器の設定方法

iPhoneのみ対応

※ 計測機器の取扱説明書も必ずご確認ください

2. 計測機器の設定

ケアデータコネクトのアプリを開き、サイドメニューの「デバイス管理」をタップ後、「新規デバイス追加」をタップし、メーカー選択画面を表示します。 「OMRON」を選択すると、「OMRON connect」アプリが起動するため、そちらで計測機器の登録を実施します。



OMRON connectアプリが起動





[血圧計] OMRON計測機器の設定方法

iPhoneのみ対応

※ 計測機器の取扱説明書も必ずご確認ください

3. 計測機器の登録

「OMRON connect」アプリの表示に従って、利用する計測機器のペアリングの設定を行います。



参考) 血圧計 HEM-6325Tの機器を設定するときの手順





[血圧計] OMRON計測機器の設定方法

iPhoneのみ対応

※ 計測機器の取扱説明書も必ずご確認ください

4. ラベルの登録

ペアリングが正常に完了すると、ケアデータコネクトのアプリが起動し、登録した計測機器の名前や色のラベルを設定、登録処理は完了です。
なお、ケアデータコネクトで表示される血圧計の画像は、実際に登録した機器の画像とは異なります。



ケアデータコネクトのアプリが起動





[血圧計] OMRON計測機器の設定方法

iPhoneのみ対応

※ 計測機器の取扱説明書も必ずご確認ください

5.1. OMRON connectアプリのデータ連携の設定（初回のみ）

機器の設定完了後、計測データの連携設定を行います。サイドメニューの「連携サービス管理」をタップ後、「OMRON connect連携」をタップし、「アプリ間連携の設定」の右にある「確認する」ボタンをタップして、OMRON connectアプリを開きます。



OMRON connectアプリが起動





[血圧計] OMRON計測機器の設定方法

iPhoneのみ対応

※ 計測機器の取扱説明書も必ずご確認ください

5.2. OMRON connectアプリのデータ連携の設定（初回のみ）

「ケアデータコネクト」横の「+」ボタンをタップ後、Appleヘルスケアへデータ取得の許可と、Appleヘルスケアへデータ書き込みの同意を行います。完了後、左上の「CDC」の文字をタップすることで、ケアデータコネクトアプリに戻ります。



全ての項目のチェックが
ONになっていることを確認してください



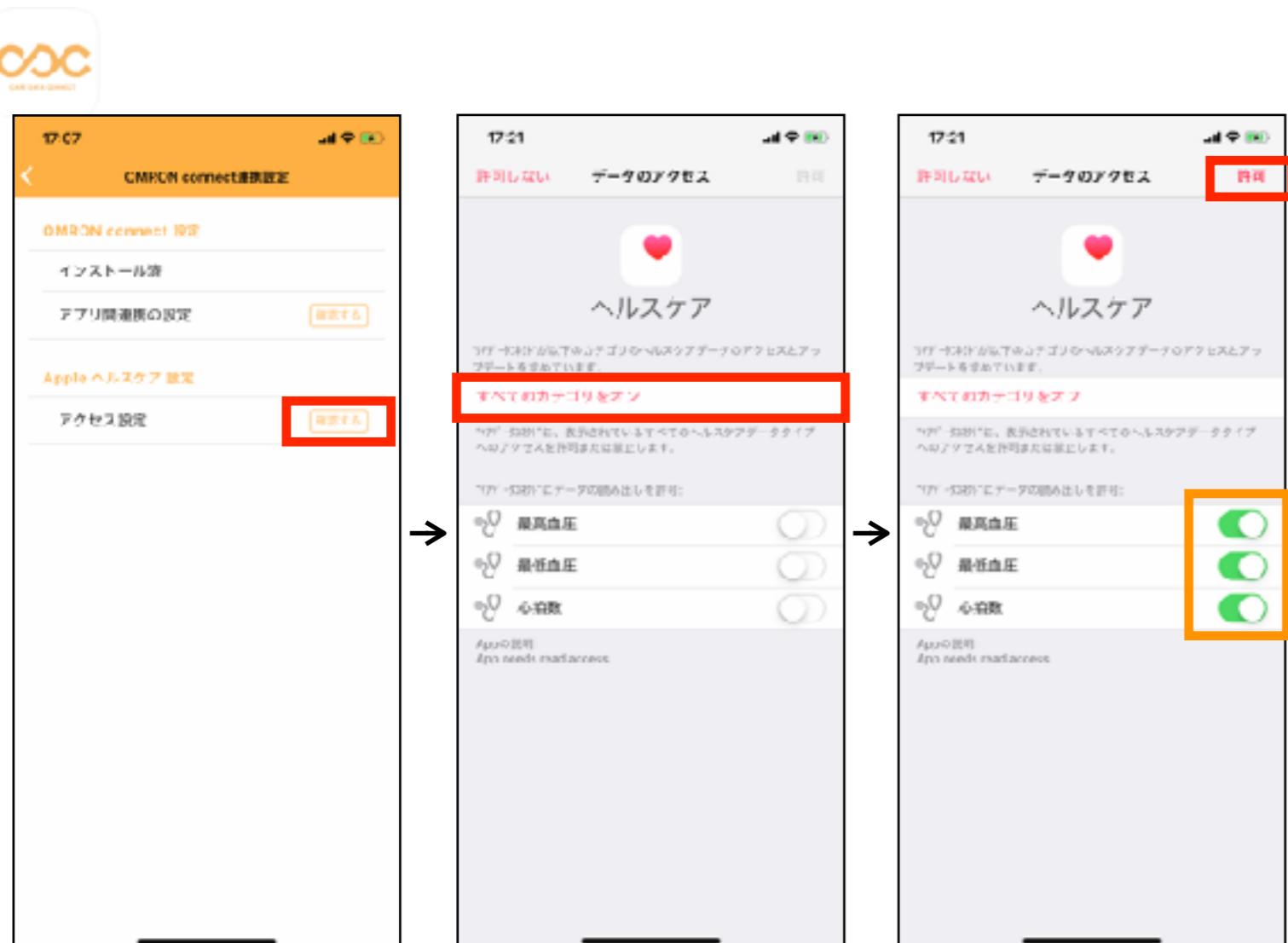
[血圧計] OMRON計測機器の設定方法

iPhoneのみ対応

※ 計測機器の取扱説明書も必ずご確認ください

6.1. Apple ヘルスケアのデータ連携の設定（初回のみ）

次に、「Apple ヘルスケア設定」の「アクセス設定」の右にある「確認する」ボタンをタップして、ヘルスケアの設定画面を開きます。Appleヘルスケアに登録されている、各種バイタルデータの取得の許可を行い、設定は完了です。



全ての項目のチェックが
ONになっていることを確認してください



[血圧計] OMRON計測機器の設定方法

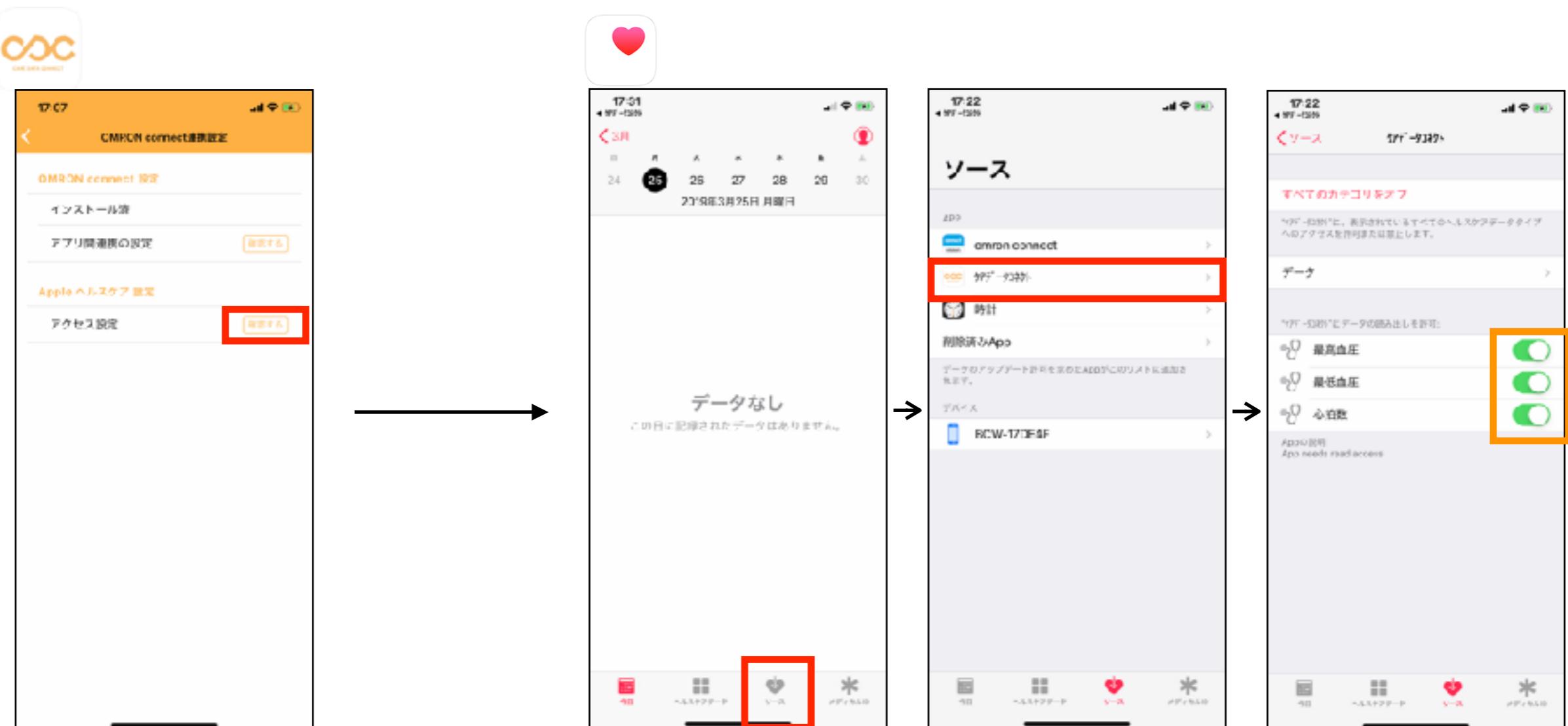
iPhoneのみ対応

※ 計測機器の取扱説明書も必ずご確認ください

6.2. Apple ヘルスケアのデータ連携の設定（2回目以降アクセス時）

Appleヘルスケアの「確認する」ボタンを2回目以降タップすると、Appleヘルスケアが起動します。

フッターメニューの「ソース」タップ後、「ケアデータコネクト」を選択して、データ連携設定をご確認ください。



2回目以降のタップでは、
Apple ヘルスケアが起動

全ての項目のチェックが
ONになっていることを確認してください



バイタル計測機能 自動連携機能を使って記録する場合

通常バイタル計測機能

iPhoneのみ対応

※ 端末のBluetooth設定をONにして下さい

《OMRON connect専用の計測機器の利用方法》

1. 通常計測画面を開き利用者を選択後、OMRONの計測機器でバイタルを計測します。

計測完了後、画面上部の「機器データを取り込む」欄の「OMRON」をタップします。

OMRON connectアプリが起動し、計測機器からデータが転送後にOKボタンを押すと、バイタルデータの取り込みが完了します。





connect
omron OMRON connect専用の計測機器をご利用のお客様

複数人バイタル計測、連続バイタル計測

iPhoneのみ対応

※ 端末のBluetooth設定をONにして下さい

《OMRON connect専用の計測機器の利用方法》

OMRONの計測機器は、計測完了後、「取得」ボタンを押してバイタルデータを連携させる必要があります

OMRONの計測機器でバイタルを測定後、アプリで「取得」ボタンを押すと、

OMRON connectアプリが起動し、バイタルデータの転送が完了すれば、画面に計測値が表示されます。

